

令和2年12月

各団体・機関の責任者 各位

一般社団法人 農業開発研修センター
会長 理事 小 池 恒 男
[公 印 省 略]

緊急特別研究会

「シリーズ3 新型コロナウイルスとどう向き合うか

－ J A信用事業に着目して－」の開催について

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当センターでは新型コロナウイルス感染症にかかる4月の緊急事態宣言を受け、7月と8月に予定の基幹研究会を止むなく延期（または中止）しておりました。しかし、5月の緊急事態宣言解除以降、事態の混迷の深まりと緊急性を鑑みて、半日の日程ではありますが、8月と9月に緊急特別研究会を開催しました。その後、10月にはJ A共済総合研究会、11月には延期していた農協問題総合研究会を通常日程で開催し、北は青森県から南は沖縄県まで、全国各地から積極的なご参加を賜りました。

しかし、昨今の新型コロナ感染拡大の状況を斟酌し、1月開催予定でありましたJ A金融問題研究会に代えて、半日日程の緊急特別研究会の「シリーズ3」として、標記研究会を開催します。

つきましては、J Aグループをはじめとする関係諸団体の役職員の皆様とともに、アフターコロナの羅針盤を見出すための一助として是非とも本研究会をご活用いただきたいと思いますと考えております。

貴団体・機関の関係者の皆様の積極的なご参加を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。なお、当センターでは、本研究会開催にあたり、別記のとおり、万全の感染防止対策に努めます。

敬 具

緊急特別研究会

「シリーズ3 新型コロナウイルスとどう向き合うか

－JA信用事業に着目して－ 開催要領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

趣 旨：

JAグループは、「5年後検討条項」である准組合員事業利用規制問題は先送りになったものの、新政権の「農協改革」によるJAグループへの圧力など、今後の動きについては、引き続き注視する必要があります。

このような状況の下、JAグループは第28回大会決議の「創造的自己改革の実践」に取り組んでいますが、農林中央金庫による奨励金の段階的見直し、さらには、新型コロナウイルス感染拡大が加わり、いま、抜本的な経営構造改革が求められています。

そこで、緊急特別研究会のシリーズ第3弾として、JA信用事業に着目して、今後の「農協改革」の動きを注視しつつ、アフターコロナを見据えた協同組織金融機関としてのJAのあり方や今後の信用事業戦略を探ることをねらいに、本研究会を開催します。

日 時：令和3年1月21日(木) 13:20～16:50

会 場：京都JAビル 地下2階 201・202会議室
京都市南区東九条西山王町1（JR京都駅八条東口より徒歩約5分）

定 員：40名 ※「3密」を避けるため、最大40名を厳守させていただきます。

参加費：(会 員) 20,000円 (非会員) 25,000円 (消費税込)
会員参加費は、農業開発研修センター会員所属者及び令和元年度以前からの会友（個人会員）です。なお、会員加入が不明の場合はお問い合わせください。

申込方法：

①裏面の参加申込書をファックスで送信し、参加費を送金してください。

なお、振込手数料はご負担ください。

○ 京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）

本 店 当座預金 口座番号：6373291

○ 京都銀行 京都駅前支店 普通預金 口座番号：3164073

口座名義：一般社団法人農業開発研修センター

②申込締切日：1月15日(金) 17:00（定員になり次第、締め切ります）

申込締切日以降にキャンセルされる場合、参加費は返金できません。

③会員加入が不明の場合や参加費の前納が不可能の場合はご連絡ください。

④開催要領及び参加申込書は、ホームページ（<http://www.agridtc.or.jp>）からもダウンロードできます。

受理通知：

受付ができましたら、受理通知書をファックスで送信します。

問い合わせ（申し込み）先：一般社団法人農業開発研修センター 緊急特別研究会係

〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1（京都JAビル内）

TEL：075-748-0703

FAX：075-748-0855

E-mail：info@agridtc.or.jp、URL：https://agridtc.or.jp

日 程：

13:20～13:30 **開会あいさつ** 一般社団法人農業開発研修センター 会長理事 小池 恒男
(滋賀県立大学名誉教授)

13:30～14:40 **報告Ⅰ 地域金融の未来** —コロナ禍を超えて—
(うち質疑応答約10分)

株式会社共同通信社 記者 橋本卓典氏

- 近著『捨てられる銀行4 消えた銀行員 地域金融変革運動体』、『捨てられる銀行』シリーズ(講談社現代新書)等、地域金融に関する著書を多数出版
- 利ザヤで稼ぐ伝統的銀行モデルの崩壊が意味すること
- 新型コロナ禍である今こそ、求められる地域金融の姿

14:40～14:50 休 憩

14:50～16:00 **報告Ⅱ 総合JAの経営問題と信用事業の課題**
(うち質疑応答約10分)

農林水産省 経営局 協同組織課 経営・組織対策室 室長 前田俊範氏

- 経済事業黒字化JAの経営状況から明らかとなった特徴と課題
- 経営全体から見た総合JAにおける信用事業の位置づけ—奨励金見直しによるJA経営への影響をどうみるか—
- 今後の農協改革でJAグループに期待したいことは何か

16:00～16:10 休 憩

16:10～16:40 **報告Ⅲ 経営構造改革下における信用事業戦略**
—アフターコロナを見据えて—

神戸大学名誉教授 高田 理 氏

- 自己改革の実践状況と今後の課題
- 信用事業の基本戦略と取り組み方策
- 総合農協における信用事業の機能発揮のあり方

16:40～16:50 **閉会あいさつ** 一般社団法人農業開発研修センター 常務理事 瀬津 孝
(京都大学農学部非常勤講師)

当センターは、研究会を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、以下の取り組みを実施します。

- 会場における換気の徹底と、十分な座席間隔を確保します。
- 会場に消毒液を準備・設置します。
- 咳エチケットや手洗いなどの実施など、皆様のご協力をお願いします。
- 当日はマスク着用のご協力をお願いします。
- 入室時に受付で検温を実施し、37.5度以上であれば受講をご辞退いただきます。
- 発熱や咳、全身痛の症状がある場合など、体調に不安のある方は参加をご遠慮ください。

農業開発研修センター 行き

< F A X : 0 7 5 - 7 4 8 - 0 8 5 5

緊急特別研究会(シリーズ3)参加申込書

(ー)

ご住所:

T E L

F A X

貴機関名:

ご記入者(部課名)

(お名前)

部課・役職名	ふりがな 参加者氏名
< 記入例 > 金融課長	けんしゅう たろう 研修 太郎

<送金状況>

- 振込(予定)先 イ. 京都信連 ロ. 京都銀行(該当する記号に○印をつけてください)
- 振込(予定)日 月 日

注1) 必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。

<<研究会参加は、申し込み順に受付ます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。>>

2) ご記入いただいた情報は、研究会の受付、名簿作成、以後の研究会の案内のために使用します。

農業開発研修センター事業案内

本センターは、学界の研究成果を、現場の農業・農村が直面する課題解決に積極的に役立てる狙いをもって昭和42年に設立、翌年に農林省から社団法人の認可を得ました。また、公益法人制度改革により、平成25年4月から一般社団法人に移行しました。ただし、これまでの取り組みと同様、全国を活動領域として、地域農業・農村の振興・活性化とJAの改革・発展に貢献することを目的としています。

本センターは、農業理論と政策の開発、農業団体の強化、指導者の育成をモットーに、基本姿勢は地方(京都)に本部を置いている利点を活かして、地域重視・現場重視の旗を高くかかげて事業活動に取り組んでいます。

調査研究

国や地方公共団体、JAグループ等の委託により、あるいは本センター独自の企画によって、地域農業振興問題やJA問題をはじめ農業全般に関する各種調査研究事業を実施。

調査診断

地域農業やJAの診断・助言、地方自治体の基本構想づくりやJAの基本構想・中期経営計画策定、地域農業振興計画策定の助言・支援。

相談受託

地方自治体の管理職層やJAトップ層等委託者の悩みを受け止め、助言・指導を行うとともに、依頼業務に関する継続的助言・指導も実施。

研究会開催

地域農業の振興にかかわる行政担当者、JAその他の農業団体の役職員育成のための研究会開催事業を実施。

情報提供

機関誌『地域農業と農協』(年4回)や調査研究報告書を発行。ホームページによる情報提供、講師の紹介・あっせん等を実施。

農業簿記表彰

農業簿記を普及推進し、健全な農業経営の発展に寄与するため、農業簿記利用優良経営表彰事業